議案第1号

市長等の給与に関する条例及び大田原市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定
について

市長等の給与に関する条例及び大田原市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例を次のとおり制定する。

令和7年1月15日提出

大田原市長 相馬 憲一

市長等の給与に関する条例及び大田原市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
(市長等の給与に関する条例の一部改正)

第1条 市長等の給与に関する条例(昭和31年条例第18号)の一部を次のように改正する。

次の表の改正前(旧)の欄に掲げる規定を同表の改正後(新)の欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

改正後(新)	改正前(旧)
(期末手当) 第4条 (略) 2 期末手当の額は、基準日現在(退職し、若しくは失職し、又は死亡した市長等にあつては、退職し、又は死亡した日現在)において市長等が受けるべき給料月額に、その給料月額の100分の45を乗じて得た額を加算した額 <u>に、6月に支給する場合には100分の170を、12月に支給する場合には100分の175を乗じて得た額に、基準日以前6箇月以内の期間におけるその者の在職期間の次の各号に掲げる区</u>	(期末手当) 第4条 (略) 2 期末手当の額は、基準日現在(退職し、若しくは失職し、又は死亡した市長等にあつては、退職し、又は死亡した日現在)において市長等が受けるべき給料月額に、その給料月額の100分の45を乗じて得た額を加算した額 <u>に100分の170を乗じて得た額に、基準日以前6箇月以内の期間におけるその者の在職期間の次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額とする。</u>

分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額とする。

(1)~(4) (略)

(1)~(4) (略)

(大田原市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正)

第2条 大田原市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例（昭和31年条例第17号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前（旧）の欄に掲げる規定を同表の改正後（新）の欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

改正後（新）	改正前（旧）
<p>(期末手当) 第5条 (略) 2 期末手当の額は、基準日現在（退職し、又は死亡した議長等にあつては、退職し、又は死亡した日現在）において議長等が受けるべき議員報酬の月額に、その議員報酬の月額に100分の45を乗じて得た額を加算した額に、<u>6月に支給する場合には100分の170を、12月に支給する場合には100分の175</u>を乗じて得た額に、基準日以前6箇月以内の期間におけるその者の在職期間の次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額とする。 (1)~(5) (略) 3~7 (略)</p>	<p>(期末手当) 第5条 (略) 2 期末手当の額は、基準日現在（退職し、又は死亡した議長等にあつては、退職し、又は死亡した日現在）において議長等が受けるべき議員報酬の月額に、その議員報酬の月額に100分の45を乗じて得た額を加算した額に<u>100分の170</u>を乗じて得た額に、基準日以前6箇月以内の期間におけるその者の在職期間の次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額とする。 (1)~(5) (略) 3~7 (略)</p>

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行し、令和6年4月1日から適用する。

(令和6年12月に支給する期末手当)

2 第1条の規定による改正後の市長等の給与に関する条例及び第2条の規定による改正後の大田原市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の規定の適用については、「6月に支給する場合には100分の170を、12月に支給する場合には100分の175」とあるのは、「100分の170」とする。